

つみきのくらし

NO.44

日々の暮らしの中で、こども園つみきとして大切にしたいことや、こどもとおとなの素敵な姿をお伝えしていきます。



大浦 久子

環境を整える

子どもたちが過ごす室内の環境を各クラスリニューアルしています。子どもたちが遊んでみたい、ここで過ごしたいと感じる環境づくりをするにあたり、職員は子どもたちが何に関心があるか、どんなふうにご覧してほしいかを観察したり話し合ったりして用意していました。今回は、リニューアルした環境と職員の願いや意図を紹介したいと思います。

大きい子の環境



何食べようかな？

エビおいしいよ！

おばけやしき

お寿司屋さん

年長のお楽しみ会が終わってからクラスみんなで楽しみ会を再現するようなごっこ遊びが始まりました。ごっこ遊びの楽しさの一つは「役になりきること」お友達と一緒に遊ぶからこそ毎回違った楽しさが味わえます

お世話遊びコーナー

お世話遊びやおままごとができるスペースを広げておうちのような感覚で楽しめます！

ケーキはいりませんか？



ドールハウス

小さい子の環境

保育者は子どもたちが何に興味があるかな？こんな遊びも好きかもしれないな？とさりげなく興味わく仕掛けを用意していました。子どもたちがもつイメージを大事にしながら遊びが発展していけるように保育者は日々観察しています。



このボールぼくの！

ホール・ロウカの環境

ホールに入ってきたときに一番に目につく場所を、落ち着いた雰囲気になるようアレンジしました。ここで過ごしたいゆっくり絵本と触れ合いたい人にも、落ち着いて過ごせるために座れる場所を増やすなど工夫しました



お化粧をしたり鏡をのぞいたりすることが好きな子たちが、お部屋で存分に楽しめるように、コーナーを作りました。遊びの様子を見ながら、アップデートを企画中！



「なぜ、この環境を用意したの？」と聞くと、どの保育者も今の子どもたちの姿から何が必要かを感じて環境を変えたと答えていました。どの場所も保育者がこどもたちへの思いを形にした環境でした。子どもたちの反応が保育者の学びや手ごたえにつながっているようでした！

ろうかの環境を変えることで走りやすい場所から、ゆったり過ごせる場所になりました。読み終わった絵本をもとの場所に帰したくなるよう絵本の量も調整しています。環境を変えてろうかでのけがが減りました。



おしゃれコーナー